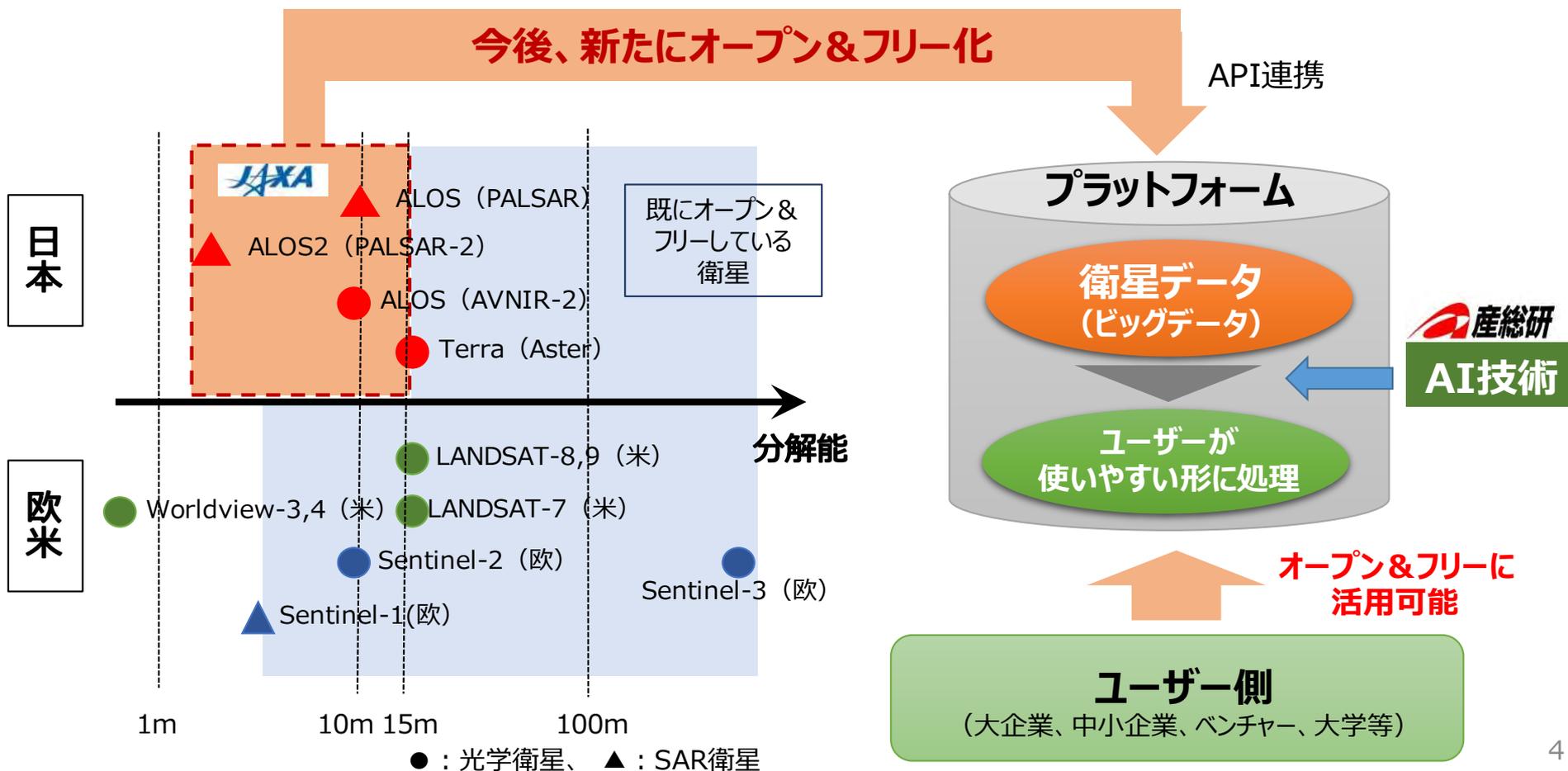


② - 1 「宇宙産業ビジョン」の着実な実施 政府衛星データのオープン&フリー化及びデータ利用環境整備

- 政府衛星データを民間に開放するため、経産省に、「政府衛星データのオープン&フリー化検討会」を立ち上げ、議論。
- JAXAが保有する衛星データを、ユーザーが利用しやすい形でオープン&フリーに提供するためプラットフォームの整備をAI技術も活用しつつ進める方針。
- 将来の民営化を前提に、来年度以降、当初は政府予算を投入し、事業を実施予定。



② - 2 「宇宙産業ビジョン」の着実な実施 宇宙ビジネスアイデアコンテスト「S-Booster」の実施

- 開催日時：平成29年10月30日（月）14:00～18:00
 - 開催会場：六本木ニコファーレ
 - 参加者：宇宙関連企業、ベンチャー企業、VC等の投資家、メディア関係者など100名以上
- ※ニコニコ動画で1万3,000名以上が視聴し、1,000件以上のコメント。



最終選考会 フォトセッション

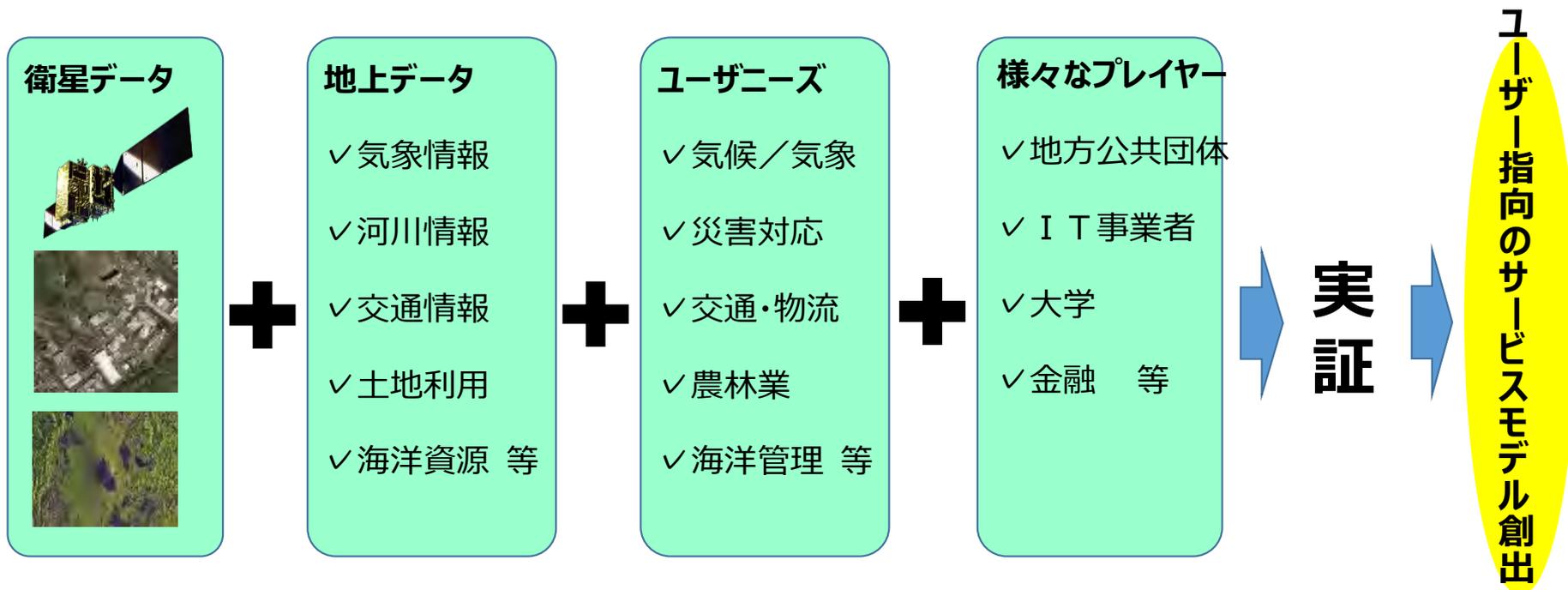
大賞：
「超低高度衛星からの3次元風速データを基にした飛行経路・高度最適化システムの構築」

スポンサー賞：
「嗅ぎ注射器 宇宙へ」
「測位衛星×セキュリティ」
「宇宙テザー技術をつかった宇宙環境計測技術の開発」
など

② - 3 「宇宙産業ビジョン」の着実な実施 宇宙データ利用モデル事業による利用拡大

- 約1ヶ月間の公募の結果、25件の応募あり。
- 有識者による検討会での議論を踏まえ、7件のプロジェクトを採択。今年度末まで実証を行い、結果を公表予定。

- 衛星データから利用を検討するのではなく、ニーズ側から様々なデータ（G空間情報）の一つとして衛星データの活用を検討。
- 現場ニーズを有する者、地方公共団体・IT事業者などを巻き込み、新たなソリューションを実証。



採択事業：

「衛星データを利用したドローン自律航法管制プラットフォーム」

「GNSSと地上データの融合による新たなスポーツ市場の開拓」

「途上国農家ビッグデータとリモセンによる農業金融サービスの実証 など」

②－４ 「宇宙産業ビジョン」の着実な実施 宇宙ベンチャー向けのリスクマネー供給拡大

宇宙分野におけるDBJ、INCJの主な投資実績

投資時期	投資先	投資元	投資額 (上限)	概要
2017年11月	QPS研究所	産業革新機構 (INCJ)	8.5億円	世界最軽量の地球観測用小型レーダー(SAR*)衛星の開発
2017年8月	新世代小型ロケット開発企画(株)	日本政策投資銀行 (DBJ)	1,000万円	小型衛星打ち上げサービス会社立ち上げに向けた検討
2017年6月	グローバル測位サービス(株)	日本政策投資銀行 (DBJ)		センチメートル級のグローバル精密衛星測位サービス
2016年3月	アストロスケール	産業革新機構 (INCJ)	30万 米ドル	新たなデブリ除去技術の開発、実証及びビジネスモデルの構築
2015年9月	アクセルスペース (グローバルブレイン5号投資組合経由)	産業革新機構 (INCJ)		超小型衛星ビジネス